

(別添)

## 1. 民間企業への委託状況(平成11年6月調査)

## (1) 訪問介護(ホームヘルプ)

都道府県名	既委託市町村					今後委託予定市町村		
	市町村数	市町村名				市町村数	市町村名	
北海道	5	札幌市	石狩市	滝川市	旭川市	乙部町	0	
青森県	0						0	
岩手県	1	一関市					1	矢巾町
宮城県	13	仙台市	白石市	角田市	七ヶ浜町	富谷町	2	大河原町 牡鹿町
		迫町	登米町	東和町	中田町	豊里町		
		石越町	南方町	津山町				
秋田県	0						0	
山形県	3	山形市	東根市	酒田市			1	米沢市
福島県	0						1	相馬市
茨城県	4	日立市	常陸太田市	石岡市	下館市		0	
栃木県	5	宇都宮市	栃木市	小山市	大田原市	塩谷町	0	
群馬県	2	前橋市	高崎市				0	
埼玉県	13	三郷市	浦和市	与野市	坂戸市	日高市	0	
		秩父市	深谷市	新座市	岩槻市	川口市		
		上里町	嵐山町	横瀬町				
千葉県	8	千葉市	柏市	松戸市	我孫子市	鎌ヶ谷市	19	銚子市 佐原市
		浦安市	九十九里町	長生村				印西市 沼南町
								下総町 栗源町
								東庄町 野栄町
								成東町 松尾町
								横芝町 一宮町
								睦沢町 白子町
								長柄町 長南町
								大多喜町 岬町
								蓮沼村
東京都	34	千代田区	新宿区	文京区	墨田区	江東区	0	
		品川区	目黒区	大田区	杉並区	豊島区		
		荒川区	板橋区	練馬区	江戸川区	八王子市		
		三鷹市	立川市	小平市	日野市	国立市		
		青梅市	昭島市	調布市	町田市	小金井市		
		国分寺市	田無市	福生市	狛江市	東大和市		
		清瀬市	東久留米市	多摩市	稲城市			
神奈川県	3	横浜市	川崎市	鎌倉市			1	城山町
新潟県	4	新潟市	長岡市	新潟市	見附市		0	
富山県	1	富山市					0	
石川県	1	金沢市					1	内灘市
福井県	0						0	
山梨県	0						1	昭和町
長野県	15	小諸市	上田市	岡谷市	諏訪市	駒ヶ根市	0	
		飯田市	松本市	塩尻市	長野市	長門町		
		阿南町	北御牧村	武石村	和田村	三郷村		
岐阜県	10	岐阜市	大垣市	高山市	中津川市	瑞浪市	0	
		各務原市	岐南町	揖斐川町	池田町	本巣町		
静岡県	10	浜松市	沼津市	熱海市	伊東市	島田市	0	
		磐田市	浜北市	大仁町	蒲原町	裾田町		
愛知県	8	名古屋市	春日井市	豊田市	小牧市	岩倉市	0	
		西枇杷島町	師勝町	木曾川町				
三重県	1	鈴鹿市					0	
滋賀県	0						0	
京都府	3	宇治市	園部町	三和町			0	
大阪府	4	池田市	八尾市	東大阪市	和泉市		0	
兵庫県	8	神戸市	西宮市	洲本市	伊丹市	宝塚市	12	姫路市 尼崎市

		加西市	稲美町	春日町				芦屋市	豊岡市
								加古川市	川西市
								小野市	篠山市
								播磨町	山崎町
								御津町	南淡町
奈良県	5	奈良市	大和郡山市	天理市	高取町	河合町	0		
和歌山県	1	橋本市					0		
鳥取県	1	淀江町					0		
島根県	5	松江市	大田市	浜田市	温泉津町	仁摩町	0		
岡山県	0						0		
広島県	1	広島市					0		
山口県	4	徳山市	防府市	下松市	岩国市		1	山口市	
徳島県	0						0		
香川県	0						0		
愛媛県	1	松山市					0		
高知県	9	南国市	中村市	土佐市	高知市	大方町	5	中土佐町	春野町
		土佐山田町	赤岡町	大野見村	西土佐村			鏡村	荜西村
								日高村	
福岡県	11	北九州市	福岡市	久留米市	直方市	田川市	0		
		中間市	大野城市	志免町	須恵町	久山町			
		糸田町							
佐賀県	3	唐津市	佐賀市	鹿島市			3	相知町	呼子町
								肥前町	
長崎県	1	佐世保市					0		
熊本県	8	熊本市	荒尾市	玉名市	宇土市	不知火町	2	荒尾市	坂本村
		菊陽町	矢部町	苓北町					
大分県	1	豊後高田市					0		
宮崎県	0						0		
鹿児島県	0						0		
沖縄県	0						0		
合計	207						50		

(2)訪問入浴

都道府県名	既委託市町村					今後委託予定市町村				
	市町村数	市町村名					市町村数	市町村名		
北海道	4	旭川市	当別町	稚丹町	古平町	0	1			
青森県	0					0				
岩手県	3	磐石町	花泉町	玉山村		0				
宮城県	30	白石市	石巻市	白石市	角田市	丸森町	0			
		蔵王町	大和町	大郷町	小野田町	色麻町				
		若柳町	栗駒町	一迫町	瀬峰町	鶯沢町				
		金成町	花山町	追町	登米町	豊里町				
		米山町	栗方町	河北町	雄勝町	河内町				
		桃生町	北上町	女川町	牡鹿町	津山町				
秋田県	21	秋田市	能代市	本庄市	鷹角市	比内町	0			
		森吉町	阿仁町	合川町	零丘町	二ツ井町				
		八森町	五城目町	飯田川町	中仙町	田沢湖町				
		仙北町	雨外町	千畑町	増田町	上小阿仁村				
		増田町								
山形県	13	山形市	天童市	鶴岡市	酒田市	米沢市	0			
		余目町	藤島町	羽黒町	三川町	温海町				
		遊佐町	松山町	戸沢村						
福島県	13	郡山市	須賀川市	いわき市	白河市	梁川町	0			
		飯野町	長沼町	大越町	月舘町	鏡石町				
		船引町	川内村	善瀬村						
茨城県	20	水戸市	古河市	石岡市	龍ヶ崎市	水海道市	0			
		常陸太田市	ひたちなか市	鹿嶋市	山方町	神栖町				
		潮来町	笠崎町	五霞町	猿島町	鹿代町				
		利根町	桂村	御前山村	大洋村	谷和原村				
栃木県	3	栃木市	南河内町	藤原町			0			
群馬県	8	前橋市	高崎市	渋川市	安中市	榎名町	0			
		倉淵村								
埼玉県	62	越谷市	八潮市	三郷市	蓮田市	吉川市	1	上堰岡市		
		川口市	浦和市	大宮市	鴻巣市	上尾市				
		与野市	蕨市	戸田市	桶川市	川越市				
		所沢市	入間市	富士見市	鳩ヶ谷市	飯能市				
		志木市	坂戸市	鶴ヶ島市	日高市	東松山市				
		秩父市	本庄市	熊谷市	深谷市	加須市				
		羽生市	幸手市	松伏町	庄和町	伊奈町				
		吹上町	三芳町	鳩山町	川島町	吉見町				
		騎西町	大和町	富代町	滑川町	横瀬町				
		菅野町	児玉町	神川町	岡部町	寄居町				
		白岡町	眞浦町	鷲宮町	杉戸町	都幾川村				
		玉川村	川里村	東秩父村	両神村	大滝村				
		大里村	南河原村							
千葉県	53	千葉市	銚子市	船橋市	館山市	木更津市	13	柏市	沼南町	下総町
		松戸市	野田市	佐原市	成田市	佐倉市		神埼町	栗源町	飯岡町
		東金市	八日市場市	旭市	習志野市	市原市		野栄町	九十九里町	松尾町
		流山市	八千代市	我孫子市	鴨川市	君津市		一宮町	睦沢町	岬町
		富津市	浦安市	四街道市	袖ヶ浦市	八街市		蓮沼村		
		印西市	関宿町	酒々井町	富里町	白井町				
		栄町	大栄町	山田町	千漣町	東庄町				
		海上町	横芝町	芝山町	白子町	長柄町				
		長南町	大多喜町	夷隅町	大原町	高浦町				
		富山町	白浜町	千倉町	丸山町	和田町				
		天津小湊町	長生村	三芳村						
東京都	42	千代田区	港区	新宿区	台東区	墨田区	0			
		目黒区	大田区	世田谷区	渋谷区	杉並区				
		豊島区	北区	荒川区	板橋区	練馬区				
		足立区	葛飾区	江戸川区	文京区	江東区				
		品川区	中野区	八王子市	三鷹市	町田市				
		日野市	国分寺市	国立市	保谷市	東大和市				
		武蔵村山市	狛江市	稲城市	立川市	武蔵野市				
		府中市	昭島市	調布市	小金井市	小平市				
		東村山市	福生市							
神奈川県	28	川崎市	横浜寛市	鎌倉市	厚木市	大和市	0			
		海老名市	座間市	平塚市	茅ヶ崎市	秦野市				
		南足柄市	小田原市	逗子市	藤沢市	三浦市				
		葉山町	愛川町	寒川町	二宮町	山北町				
		湯河原町	城山町	開成町	箱根町	大井町				
		藤野町	松田町	清川村						
新潟県	17	村上市	新潟市	新潟市	三条市	長岡市	1	西津市		
		上越市	豊栄市	見附市	十日町市	妙高高原町				
		聖籠町	中条町	分水町	吉田町	能生町				
		加治川村	朝日村							

富山県	1	立山町					0		
石川県	3	金沢市	津幡町	高松町			0		
福井県	0						0		
山梨県	14	甲府市	山梨市	大月市	敷島町	昭和町	2	美山町	永平寺町
		白根町	若草町	春日居町	牧丘町	勝沼町		都留市	勝山村
		石和町	河口湖町	大和村	山中湖村				
長野県	13	佐久市	岡谷市	飯田市	埴尻市	大町市	0		
		飯島町	豊科町	穂高町	池田町	中川村			
		宮田村	豊丘村	松川村					
岐阜県	32	大垣市	関市	中津川市	美濃市	瑞浪市	0		
		恵那市	土岐市	可児市	川島町	岐南町			
		柳津町	海津町	南濃町	養老町	權斐川町			
		池田町	北方町	本巣町	穂積町	樂南町			
		糸貫町	武芸川町	武儀町	坂祝町	富加町			
		御嵩町	養山町	岩村町	山岡町	谷汲村			
		上之保村	和良村						
静岡県	20	静岡市	浜松市	沼津市	清水市	熱海市	0		
		三島市	島田市	磐田市	藤枝市	御殿場市			
		裾野市	裾野市	伊豆長岡町	大仁町	清水町			
		小山町	芝川町	蒲原町	大井川町	中川根町			
愛知県	60	名古屋市	岡崎市	一宮市	瀬戸市	半田市	0		
		春日井市	豊川市	津島市	碧南市	刈谷市			
		豊田市	安城市	西尾市	蒲郡市	犬山市			
		常滑市	江南市	尾西市	小牧市	稲沢市			
		新城市	東海市	大府市	知多市	知立市			
		尾張旭市	岩倉市	豊明市	日進市	西枇杷島町			
		豊山町	師勝町	西春町	春日町	清洲町			
		新川町	大口町	扶桑町	木曾川町	祖父江町			
		美和町	弥富町	佐屋町	阿久比町	東浦町			
		南知多町	武豊町	一色町	吉良町	幡豆町			
		幸田町	額田町	藤岡町	足助町	旭町			
		稲武町	小坂井町	御津町	小原村	下山村			
三重県	6	鈴鹿市	名張市	上野市	關町	北勢町	0		
		嬉野町							
滋賀県	6	大津市	草津市	石部町	虎姫町	高月町	0		
		今津町							
京都府	2	宇治市	龜岡市				0		
大阪府	19	豊中市	吹田市	高槻市	守口市	茨木市	0		
		寝屋川市	河内長野市	松原市	和泉市	箕面市			
		摂津市	高石市	東大阪市	阪南市	豊能町			
		能勢町	太子町	河南町	桑原町				
兵庫県	7	神戸市	姫路市	明石市	西宮市	高砂市	12	尼崎市	洲本市
		緑町	三原町					川西市	洲本市
								吉川町	播磨町
								御津町	西淡町
									南淡町
奈良県	10	大和高田市	橿原市	櫻井市	香芝市	平群町	0		
		三郷町	大宇陀町	高取町	王寺町	東吉野村			
和歌山県	0						0		
鳥取県	0						0		
島根県	2	斐川町	大社町				1	旭町	
岡山県	1	倉敷市					0		
広島県	10	広島市	呉市	三原市	廿日市市	福山市	1	豊松村	
		海田町	坂町	黒瀬町	大野町	音戸町			
山口県	5	岩国市	徳山市	防府市	山口市	周東町	2	柳井市	秋芳町
徳島県	1	鳴門市					0		
香川県	7	三木町	牟礼町	綾南町	園分寺町	大川町	0		
		綾上町	飯山町						
愛媛県	0						0		
高知県	5	土佐市	南国市	大方町	大野見村	西土佐村	4	奈半利町	赤岡町
								鏡村	春野町
福岡県	11	北九州市	福岡市	直方市	中間市	宗像市	0		
		古賀市	宇美町	志免町	須恵町	福岡町			
		小竹町							
佐賀県	0						0		
長崎県	1	長崎市					0		
熊本県	1	熊本市					0		
大分県	1	佐伯市					0		
宮崎県	2	延岡市	佐土原町				0		
鹿児島県	0						0		
沖縄県	0						0		
合計	555						39		

## 2. 農協・生協等の協同組合への委託状況(平成11年6月)

### (1) 訪問介護(ホームヘルプ)

都道府県名	既委託市町村					今後委託予定市町村	
	市町村数	市町村名					市町村数
北海道	0					0	
青森県	0					1	十和田市
岩手県	1	玉山村				2	江刺市 釜石市
宮城県	5	栗駒町	瀬峰町	鶯沢町	金成町	花山町	3 若柳町 高清水町 大郷町
秋田県	0					0	
山形県	1	飯豊町				0	
福島県	1	福島市				0	
茨城県	1	高萩市				0	
栃木県	2	宇都宮市	茂木町			0	
群馬県	4	前橋市	富岡市	甘楽町	嬬恋村	3	太田市 妙義町 下仁田町
埼玉県	1	秩父市				0	
千葉県	2	我孫子市	白井町			11	佐原市 八日市場市 印西市 下総町 九十九里町 横芝町 一宮町 睦沢町 長柄町 大多喜町 岬町
東京都	1	荒川区				0	
神奈川県	0					0	
新潟県	4	長岡市	新井市	越路町	西山町	0	
富山県	4	入善町	福岡町	立山町	舟橋村	0	
石川県	5	七尾市	小松市	松任市	志雄町	志賀町	0
福井県	1	福井市				0	
山梨県	0					0	
長野県	15	小諸市	諏訪市	茅野市	飯田市	松本市	0
		塩尻市	大町市	白田町	立科町	木曾福島町	
		信州新町	北御牧村	原村	大桑村	堀金村	
岐阜県	1	高鷺村				0	
静岡県	2	浜松市	水窪町			0	
愛知県	0					0	
三重県	1	松阪市				0	
滋賀県	0					0	
京都府	2	京北町	美山町			0	
大阪府	1	茨木市				0	
兵庫県	16	尼崎市	洲本市	豊岡市	加西市	福美町	2 小野市 一宮町
		社町	滝野町	東条町	夢崎町	福崎町	
		香寺町	大河内町	山崎町	和田山町	津名町	
		五色町					
奈良県	0					0	
和歌山県	2	田辺市	下津町			0	
鳥取県	0					0	
島根県	12	松江市	安来市	大田市	玉湯町	斐川町	2 出雲市 温泉津町
		鹿島町	東出雲町	広瀬町	伯太町	温泉津町	
		仁摩町	八雲村				
岡山県	0					0	
広島県	1	広島市				1	久井町
山口県	2	下関市	下松市			0	
徳島県	0					0	
香川県	0					0	
愛媛県	0					0	

高知県	2	佐川町	吾北村				4	南国市	中土佐町
								赤岡町	日高村
福岡県	2	久留米市	北九州市				0		
佐賀県	1	大町町					0		
長崎県	0						0		
熊本県	4	合志町	矢部町	多良木町	苓北町		3	宇土市	坂本村
								岡原村	
大分県	0						0		
宮崎県	0						0		
鹿児島県	0						0		
沖縄県	0						0		
合計	97						32		

## (2)日帰り介護(デイサービス)事業

都道府県名	既委託市町村				今後委託予定市町村		
	市町村数	市町村名			市町村数	市町村名	
北海道	0				0		
青森県	0				0		
岩手県	2	花巻市	釜石市		0		
宮城県	0				0		
秋田県	0				0		
山形県	0				0		
福島県	1	いわき市			0		
茨城県	0				0		
栃木県	4	真岡市	矢板市	今市市	7	宇都宮市	佐野市
						茂木町	那須町
						二宮町	芳賀町
						市貝町	
群馬県	0				0		
埼玉県	1	坂戸市			1	所沢市	
千葉県	0				9	佐原市	成田市
						勝浦市	下総町
						横芝町	一宮町
						睦沢町	大多喜町
						長生村	
東京都	1	品川区			0		
神奈川県	2	川崎市	鎌倉市		0		
新潟県	3	上越市	三条市	大和町	1	十日町市	
富山県	0				0		
石川県	1	金沢市			0		
福井県	0				0		
山梨県	0				0		
長野県	4	上田市	須坂市	小諸市	0		
岐阜県	1	美濃加茂市			0		
静岡県	0				0		
愛知県	4	常滑市	豊川市	長久手町	2	東海市	知多市
三重県	0				0		
滋賀県	0				0		
京都府	0				0		
大阪府	0				0		
兵庫県	2	相生市	山崎町		0		
奈良県	0				0		
和歌山県	0				0		
鳥取県	0				0		
島根県	0				1	出雲市	
岡山県	0				0		
広島県	0				0		
山口県	1	萩市			0		
徳島県	0				0		
香川県	0				0		
愛媛県	0				0		
高知県	1	越知町			3	南国市	赤岡町
福岡県	3	柳川市	中間市	筑紫野市	0		
佐賀県	0				0		
長崎県	0	長崎市			0		
熊本県	1	苓北町			1	熊本市	
大分県	0	佐伯市			0		
宮崎県	0				0		
鹿児島県	0				0		
沖縄県	0				0		
合計	32				25		

(注)県単のミニデイサービス等を含む。

### 3 過疎地域等在宅保健福祉サービス推進試行的事業の結果概要

介護保険制度の円滑な導入に向け、平成9年度より、過疎地域等在宅保健福祉サービス推進試行的事業を実施し、民間サービス提供事業者等による事業実施を試行的に行い、民間サービス提供事業者等の活用にあたっての課題や問題点の把握を行ってきたところである。

平成9年度及び平成10年度の事業実績を踏まえ、別添のとおり、各地域の実施結果についてのとりまとめを行った。また、各地域に共通する課題は次のとおりである。それぞれ、過疎地域等を抱える地域におけるサービス基盤整備にあたり参考とされたい。

なお、平成11年度も引き続き本事業を実施することとしており、7月21日付けで都道府県等に実施協議書の提出をお願いする通知を発送したところである。

#### <各地域に共通する課題>

##### (1) 住民意識について

過疎地域では、都市部等に比べ、核家族化の影響が比較的少なく、また、介護の担い手を家族に求めるという考え方が根強く残っており、家族介護で十分とする意識が強い。また、今まで民間事業者があまり参入していなかったこともあり、住民の意識には民間事業者に対する警戒心が強く、需要の喚起が十分でないということが共通的に指摘された。

このため、市町村の役所の窓口等にリーフレットを置いたり、他の在宅福祉サービスを受けている利用者に事業内容を説明する等により事業実施地域の拡大に力点を置いたところも多かった。ある地域の住民調査で、住民がサービスを実際に受けてみて初めてその良さを実感したことが報告されており、過疎地域の住民は、いわば「食わず嫌い」の状態ともいえる。こうしたことから、住民の民間事業者の介護サービスに対する意識の改革がポイントであり、サービスの質のPRなど事業者自身の広報活動とともに、市町村から住民への介護保険制度の趣旨の幅広い周知が重要と言える。



## (2) 移動時間について

過疎地域では人口が少なく、利用者の散在しているので移動効率が悪いという指摘がみられた。こうした中で採算性の向上を図るには、①事業者のサービス提供地域内において一定量の利用者を確保するため、積極的PRが必要、②利用者宅から最も近いヘルパーの派遣やサテライト事務所の設置等で移動経費削減の工夫が必要、などの意見もあった。

その他の問題としては冬期の問題として山間部の地域等では、雪の影響により、訪問スケジュールの遅延をしたり、事業実施が困難になる場合があることから、適切な介護報酬設定についての要望のほか、サービス提供困難な場合に備えた地域ぐるみの補完体制を構築する等の対応が必要となるとの意見もあった。

このような状況を踏まえ、移動時間を介護報酬に反映すべきであるという意見も多かった。また、直前のキャンセルによる影響が大きいとの指摘もあった。

※ なお、移動時間がどの程度かかるかについては、一地域当たりの利用者が少なく、かつ、地域外の遠方の事務所からサービス提供を行うケースもあったこと等から、個々の事例の特殊性による影響が大きかったため、全体の集計は行わなかった。

## (3) 人材の確保について

当初懸念されていたサービスの担い手となる人材については、過疎地域においては、高齢者介護は身近な問題であり、家族等も介護の仕事の重要性や意義を理解していることに加え、就労の場が都市部に比較して少ないこと等から質量ともに確保可能であったとする地域がある一方で、ヘルパー養成研修修了者の確保が困難との指摘もあり、事業者自ら養成研修を実施したところもあった。

## 事業の実施結果について（各道県からの報告）

区 分	平成9年度	平成10年度
北海道	中空知地域（人口28,320人）（民間事業者活用型）	中空知1市5町地域（人口34,476人）（民間事業者活用型）
訪問介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 平成9年12月～平成10年2月</li> <li>・利用者数 11人</li> <li>・延べ時間数 62時間 2.0時間/月</li> <li>・延べ回数 124回 4.1回/月</li> <li>・参入事業者数 1社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 平成10年4月～平成11年3月</li> <li>・利用者数 27人</li> <li>・延べ時間数 1,503時間 12.5時間/月</li> <li>・延べ回数 2,761回 23.0回/月</li> <li>・参入事業者数 1社</li> </ul>
訪問入浴		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 平成10年5月～平成11年3月</li> <li>・利用者数 4人</li> <li>・延べ回数 23回 2回/月</li> <li>・参入事業者数 1社</li> </ul>
福祉用具賃貸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 平成10年2月～3月</li> <li>・利用者数 2人</li> <li>・参入事業者数 2社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 平成10年4月～平成11年3月</li> <li>・利用者数 6人</li> <li>・参入事業者数 5社</li> </ul>
<p>1. 地域の特色を踏まえた課題等            実施地域の中空知地区は、北海道の中でも特に豪雪地帯であり、年間降雪量は1m前後に達する地域である。</p> <p>○利用者側の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問時間により、ホームヘルパーに家の鍵を預ける必要がある。（信頼関係の構築）</li> <li>・民間事業者のサービスに対する抵抗感からサービス利用者が少ない。</li> </ul> <p>○事業者側の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積雪による訪問スケジュールの遅延。</li> <li>・悪天候によるホームヘルパーの疲労、危険性等の問題。</li> <li>・訪問入浴車の効率的な稼働及び福祉用具の継続使用のためのフォローアップ。</li> </ul> <p>2. 事業実施上の工夫等</p> <p>○広報について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の確保を図るため、各市町村の福祉担当窓口へ啓発チラシを設置したほか、既存の在宅福祉事業を受けている利用者においても本事業の希望者に対しては、その提供時間、サービス内容を調整し、実施した。</li> <li>・啓発チラシを各市町村ごとに町内会単位での回覧、あるいは全戸配布といった措置を講じ、地域住民への本事業の周知に努めた。</li> <li>・老人保健施設の退所時や訪問介護の際に本事業を紹介するなどの措置を講じた。</li> <li>・体験入浴等の実施による広報の強化を図る必要がある。</li> </ul> <p>○サービス提供・事業運営の効率化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施地域の拡大により、採算性の確保を図る必要がある。</li> <li>・ホームヘルパーの仮眠・休息施設を整備する必要がある。</li> </ul>		

（別添）

区 分	平成9年度	平成10年度
宮城	栗原地域（人口30,255人）（民間事業者活用型）	栗原地域ほか2町（人口53,824人）（民間事業者活用型）
訪問介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間.....平成10年2月～平成10年3月</li> <li>・利用者数.....12人</li> <li>・延べ時間数.....334時間 167時間/月</li> <li>・延べ回数.....681回 340回/月</li> <li>・参入事業者数.....1社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間.....平成10年4月～平成11年3月</li> <li>・利用者数.....82人</li> <li>・延べ時間数.....11,720時間 20時間/月</li> <li>・延べ回数.....24,643回 2,053回/月</li> <li>・参入事業者数.....1社</li> </ul>
訪問入浴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間.....平成10年2月～平成10年3月</li> <li>・利用者数.....3人</li> <li>・延べ回数.....5回 3回/月</li> <li>・参入事業者数.....1社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間.....平成10年4月～平成11年3月</li> <li>・利用者数.....25人</li> <li>・延べ回数.....397回 33回/月</li> <li>・参入事業者数.....1社</li> </ul>
<p>1. 地域の特色を踏まえた課題等            実施地域では、高齢者介護は身近な問題であり、働き手も家族も介護の仕事の重要性や意義を理解していることに加え、就労の場が都市部に比較して少ないこと等から、当初懸念された在宅福祉サービスの担い手となる人材については、質量ともに確保可能であった。</p> <p>○事業者側の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動効率の低さ。（利用者間相互の距離の隔たり）。</li> <li>・稼働率の向上の限界。（3交代制に伴う申し送り時間の確保、訪問希望時間の集中等）</li> <li>・農村部と比較して山間部において、移動効率が悪い。</li> <li>・積雪及び路面の凍結による訪問スケジュールの遅延及び訪問不能。</li> <li>・低単価により採算性の確保が困難。</li> </ul> <p>2. 事業実施上の工夫等</p> <p>○サービス提供・事業運営の効率化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス提供の拠点施設について、事務所用の物件が当該地域にない場合は、公共施設の一部、民家等を借りる等の対応を図る。</li> <li>・事務経費のうち、地代家賃や水道光熱費といった販売管理費的な部分でのコストの節減を図る。</li> <li>・利用者総数のみの増加でなく、あるエリア内でのより高密度の利用者の確保が必要である。</li> <li>・事業立ち上げ当初は、利用者の散在による採算性の問題から、事業者の撤退を招かないような対応が必要である。</li> <li>・積雪及び路面の凍結時のサービス確保のため、ルートの臨時増設、予備ヘルパーの待機、運転要員の確保等が考えられる。</li> <li>・適切な単価設定が必要である。</li> </ul>		

区 分		平成 9 年度	平成 1 0 年度
山 形	対象地域		最上広域市町村圏（人口98,251人）（民間事業者活用型）
	訪問介護		・実施期間 平成11年3月 ・利用者数 1人 ・延べ時間数 20時間 20時間/月 ・延べ回数 18回 18回/月 ・参入事業者数 1社
	<p>1. 地域の特色を踏まえた課題等            当該地域は、三世同居率が高く、大家族の多い地域である。また、積雪等による影響が十分予想される地域である。</p> <p>○利用者側の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族介護で十分とする住民意識。</li> <li>・介護保険に対する周知不足</li> <li>・民間事業者に対する警戒心。</li> </ul> <p>○事業者側の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の経験不足。</li> <li>・提供サービスが限定されている。</li> <li>・看護婦等の有資格者の確保が困難。</li> <li>・移動に時間がかかり、サービス提供が非効率、高コストになる。</li> <li>・冬期に移動等が困難になることが予想される。</li> </ul> <p>2. 事業実施上の工夫等</p> <p>○広報について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用希望者に対する説明のためのリーフレットを作成した。</li> <li>・市町村の老人福祉担当課及び在宅介護支援センターの窓口にリーフレットを置く。</li> <li>・民生委員、在宅介護支援センターのソーシャルワーカー、市町村の保健婦等に対して、介護保険制度の広報と併せて、本事業の説明を依頼する。</li> <li>・公的サービスではなく民間のサービスを利用したいという希望者もあった。</li> </ul> <p>○市町村・事業者間の情報提供について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動等が困難な場合の補完体制について、市町村を中心に地域ぐるみで取り組んでいく必要がある。</li> </ul> <p>○サービス提供・事業運営の効率化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者としては地域に認められる顧客満足を追求した活動が必要である。</li> </ul>		

区 分		平成 9 年度	平成 1 0 年度
千葉	対象地域		安房・夷隅サブ老人保健福祉圏（人口156,564人） （農協・民間事業者活用型）
	訪問介護		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 平成10年12月～平成11年3月</li> <li>・利用者数 39人</li> <li>・延べ時間数 2,447時間 612時間/月</li> <li>・延べ回数 2,056回 514回/月</li> <li>・参入事業者数 6社</li> </ul>
	<p>1. 地域の特色を踏まえた課題等</p> <p>○利用者側の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族介護で十分とする住民意識。</li> </ul> <p>○事業者側の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の選択に必要な情報提供が不十分だった。</li> <li>・サービス提供担当者の交代時の引継がうまくいかずトラブルが発生したり、人間関係の形成に時間を要したことにより利用者の不満があった。</li> <li>・利用者の苦情等に迅速な対応ができなかった。</li> <li>・利用者が散在しており、移動時間が30分～1時間とかかり、効率が悪かった。</li> <li>・事業実施地域で有資格者（2級ヘルパー等）の募集をしたが、応募者が少なく担当者を遠方の事務所から派遣せざるを得なかった。</li> <li>・サービス提供を開始したところ、介護に抵抗する等利用者の個人情報の伝達が不十分であったため、当初の契約内容（時間）での対応ができなかった。</li> </ul> <p>2. 事業実施上の工夫等</p> <p>○広報について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県及び当該市町村は、広報紙に掲載し事業のPRを実施した。</li> <li>・当該市町村は、保健婦等が受け持っている高齢者の中で、現在サービスを利用していない人への個別の事業説明を行った。</li> </ul> <p>○市町村・事業者間の情報提供について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者への事業説明会を行い、参加の意向の確認を行った。</li> <li>・県・市町村・事業者の3者会議は随時開催し、相互の情報交換を実施した。</li> <li>・契約時、市町村担当者も同行し、情報交換を行い、今後の方針を確認した。</li> </ul>		

区 分	平成9年度	平成10年度
岐阜	対象地域	揖斐地域（人口74,343人） （民間事業者活用型）
	訪問介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 平成10年12月～平成11年3月</li> <li>・利用者数 6人</li> <li>・延べ時間数 241時間 6.0時間/月</li> <li>・延べ回数 427回 107回/月</li> <li>・参入事業者数 1社</li> </ul>
	訪問入浴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 平成10年12月～平成11年3月</li> <li>・利用者数 19人</li> <li>・延べ回数 133回 33回/月</li> <li>・参入事業者数 1社</li> </ul>
	<p>1. 地域の特色を踏まえた課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者側の課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のサービスで満足している。</li> </ul> </li> <li>○事業者側の課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・低単価により採算性の確保が困難。（ある程度の件数がないと事業として成り立たない。）</li> </ul> </li> </ul> <p>2. 事業実施上の工夫等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○広報について <ul style="list-style-type: none"> <li>・各町村の担当者が個別にあたってサービスの提供を呼びかけた。</li> </ul> </li> <li>○市町村・事業者間の情報提供について <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の事業が事業対象地域への参入のきっかけにもなりうるというメリットを強調して事業者に働きかけた。</li> </ul> </li> <li>○サービス提供・事業運営の効率化について <ul style="list-style-type: none"> <li>・同一郡内の中心地のみでなく、過疎の町村ごとにステーションを設置する必要がある。</li> </ul> </li> </ul>	

区 分		平成9年度	平成10年度
静岡	対象地域		伊豆地域(人口56,925人) (民間事業者活用型)
	福祉用具貸貸		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間.....平成10年10月～平成11年3月</li> <li>・利用者数.....11人</li> <li>・参入事業者数.....1社</li> </ul>
<p>1. 地域の特色を踏まえた課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者側の課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公的介護を利用することへの抵抗感。</li> </ul> </li> <li>○事業者側の課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現行制度下で新たな事業参入への取り組みが消極的。</li> </ul> </li> </ul> <p>2. 事業実施上の工夫等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○広報について <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村の職員がサービス内容を利用者に直接サービス内容を説明して利用の促進を図った。</li> </ul> </li> </ul>			

区 分		平成 9 年度	平成 1 0 年度
三重	対象地域		紀南地域（人口46,327人）（農協活用型）
	福祉用具賃貸		・実施期間 ..... 平成11年2月～平成11年3月 ・利用者数 ..... 12人 ・参入事業者数 ..... 1社
<p>1. 地域の特色を踏まえた課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事業者側の課題               <ul style="list-style-type: none"> <li>・採算性の確保が困難。（レンタル業者が近隣地域にないため、移動には時間がかかる。）</li> </ul> </li> </ul> <p>2. 事業実施上の工夫等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○広報について               <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動を通じ、サービス開始のPRに努めた。地元紙に定期的に記事を提供する。</li> </ul> </li> <li>○サービス提供・事業運営の効率化について               <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業のノウハウについて、福祉事業者協会の協力を得ながら、技術習得に努めた。</li> <li>・農協の支店網が充実しており、レンタル品の集散、支払口座の引き落とし、戸別訪問による宣伝活動等有効に活用した。</li> <li>・他地域（県外地域）への事業展開も検討が必要。</li> </ul> </li> </ul>			



区 分		平成9年度	平成10年度
鳥 取	対象地域		若桜谷地域（人口25,987人）（農協・民間事業者活用型）
	訪問介護		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 平成10年12月～平成11年3月</li> <li>・利用者数 3人</li> <li>・延べ時間数 279時間 70時間/月</li> <li>・延べ回数 201回 50回/月</li> <li>・参入事業者数 2社</li> </ul>
	訪問入浴		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 平成11年1月～平成11年3月</li> <li>・利用者数 2人</li> <li>・延べ回数 16回 5回/月</li> <li>・参入事業者数 1社</li> </ul>
	<p>1. 地域の特徴を踏まえた課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事業者側の課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者をどのように掘り起こすか。（採算性）</li> </ul> </li> </ul> <p>2. 事業実施上の工夫等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○広報について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・県で統一のチラシを作成し、モデル地域の全戸に配布した。</li> <li>・現在在宅サービスを利用している者すべてに社会福祉協議会を通じて本事業利用の呼びかけを行った。</li> <li>・モデル地域の担当者から個別に在宅サービス未利用者の要援護者に利用を打診した。</li> </ul> </li> <li>○市町村・事業者間の情報提供について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・県・モデル地域、社会福祉協議会及び民間事業者と複数回にわたり、当該事業の流れを整理した。</li> </ul> </li> </ul>		

区 分	平成9年度	平成10年度	
島根	対象地域	雲南地区（人口72,567人）（農協活用型）	雲南地区（人口71,355人）（農協活用型）
	訪問介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 平成9年12月～平成10年3月</li> <li>・利用者数 44人</li> <li>・延べ時間数 483時間 121時間/月</li> <li>・延べ回数 406回 102回/月</li> <li>・参入事業者数 1社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 平成10年4月～平成11年3月</li> <li>・利用者数 355人</li> <li>・延べ時間数 5,006時間 417時間/月</li> <li>・延べ回数 3,752回 313回/月</li> <li>・参入事業者数 1社</li> </ul>
	訪問入浴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 平成9年12月～平成10年3月</li> <li>・利用者数 19人</li> <li>・延べ回数 42回 11回/月</li> <li>・参入事業者数 1社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 平成10年4月～平成11年3月</li> <li>・利用者数 13人</li> <li>・延べ回数 332回 28回/月</li> <li>・参入事業者数 1社</li> </ul>
	福祉用具貸貸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 平成9年12月～平成10年3月</li> <li>・利用者数 18人</li> <li>・参入事業者数 1社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 平成10年4月～平成11年3月</li> <li>・利用者数 80人</li> <li>・参入事業者数 1社</li> </ul>
	対象地域		浜田地区（人口93,908人）（農協活用型）
	訪問介護		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 平成11年2月～平成11年3月</li> <li>・利用者数 15人</li> <li>・延べ時間数 310時間 155時間/月</li> <li>・延べ回数 291回 146回/月</li> <li>・参入事業者数 1社</li> </ul>
<p>1. 地域の特色を踏まえた課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者側の課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族介護で十分とする住民意識。</li> <li>・料金に対する不安</li> </ul> </li> <li>○事業者側の課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供が不十分。</li> <li>・採算性の確保が困難。</li> </ul> </li> </ul> <p>2. 事業実施上の工夫等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○広報について <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マスメディアを通じての広報を活発に行い、住民への情報提供と「家族による介護で十分」という意識の改革に努める。</li> </ul> </li> <li>○市町村・事業者間の情報提供について <ul style="list-style-type: none"> <li>・県、JA等民間事業者双方から市町村の実務者レベルの高齢者サービス調整チームへ協力を働きかける。</li> </ul> </li> <li>○サービス提供・事業運営の効率化について <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉用具貸貸において、良い製品をそろえ、迅速に対応し、消毒等メンテナンスの設備を整えて質の良いサービスを提供した。</li> <li>・潜在需要の掘り起こしが必要である。</li> </ul> </li> </ul>			

区 分		平成 9 年度	平成 1 0 年度
広島	対象地域		備北地域（人口106,877人）（農協活用型）
	訪問介護		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 平成10年10月～平成11年3月</li> <li>・利用者数 39人</li> <li>・延べ時間数 2,544時間 42.4時間/月</li> <li>・延べ回数 2,882回 48.0回/月</li> <li>・参入事業者数 2社</li> </ul>
<p>1. 地域の特色を踏まえた課題等</p> <p>○利用者側の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉は行政と社協が担うものとする住民意識。</li> <li>・近所のヘルパーの派遣を嫌う。</li> </ul> <p>○事業者側の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積雪による訪問スケジュールの遅延や悪天候によるホームヘルパーの危険性の問題。</li> <li>・利用者の散在や道路の凍結等による移動効率の低さ。</li> <li>・経営上、非常勤のヘルパーを多数活用しているため、各利用者に対し、ヘルパーの固定が図れなかった。</li> <li>・養成研修を修了しているヘルパーの確保等が困難であった。</li> <li>・家事援助に対するヘルパー報酬が低いため、ヘルパーが家事援助での派遣を望まない傾向がある。</li> <li>・派遣当日又は直前のキャンセルに対し、準備に要した費用の回収が困難である。</li> <li>・ホームヘルプ事業単独では経営的に難しく、JAの他の事業との連携を図る必要がある。</li> </ul> <p>2. 事業実施上の工夫等</p> <p>○広報について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管内の在宅介護支援センター、病院、訪問介護ステーションを回り、協力を依頼した。</li> <li>・農協組合員にサービス利用の勧誘を行うとともに、JAの広報紙及び有線放送で事業内容をPRした。県は地元放送局で広報番組を制作し、広報した。</li> </ul> <p>○サービス提供・事業運営の効率化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者宅から最も近い者を派遣するように配慮し、移動時間のロスの削減に努めた。</li> <li>・近所のヘルパーの派遣を嫌う利用者に対して他市町村に住むヘルパーを派遣。</li> <li>・サービス提供計画の随時の変更に対応するために、新たに介護支援専門員を雇用し、コーディネーターと2名体制で対応した。</li> <li>・ヘルパーの間で質の格差が生じないように、毎月勉強会の開催やJA自らヘルパー養成研修を実施することとした。</li> <li>・他のJA事業（給食サービスや食材の宅配事業）との提携・連携を図っている。</li> </ul> <p>○積雪時等の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積雪時にはJAの管理職（男性）が総動員し、四輪駆動車によりヘルパーを送迎した。</li> <li>・早朝・夜間に道路が凍結し、定時に訪問することが困難な場合は、利用者に事前に了解を得て、移動時間を通常の5割増で見込み派遣することとした。</li> <li>・冬期間の道路凍結に対応するために、スタッドレスタイヤを常時装着するなどし、移動の効率化に努めた。</li> </ul>			